小学校児童における体育科授業中に発生する

論文集原稿 見本

論文タイトル：18pt、明朝体，中央

余白：25mm

負傷に関する研究

名前：14pt，ゴシック体，中央，性と名の間を半角あける．

専攻：10pt，明朝体，中央．

指導教員：10pt，明朝体，中央，指導教員名との間を半角あける．**主指導教員（実質の指導教員）と研究指導教員が異なる場合，全角あけて主指導教員，研究指導教員の順に．**

18ptのスペース１行分をあける

高橋 誠人

体育学専攻

10ptのスペース１行分をあける

指導教員 本田 靖

# Study of injuries in physical education class for elementary school children

### Makoto TAKAHASHI

英文タイトル：Times New Roman，10pt，bold，中央．

英文氏名：Times New Roman，10.5pt，bold，中央，

　　　　　姓は大文字．

10ptのスペース１行分をあける

**The ultimate aim of this study was to decrease number of injuries in physical education class for elementary school children. For this purpose, the number of injuries and teachers’ recognition were compared and analyzed in terms of time factors.**

英文アブストラクト：

Times New Roman，10pt，bold，中央．

左右に10mmずつインデントする

**The findings of the research showed that the recognition of teachers was similar to the occurrence of actual injuries. There were, however, differences in some points. By teachers’ recognizing the difference, I consider that the frequency of injury would decrease.**

節タイトル：10pt，ゴシック体，左揃え，【 】付き．

12ptのスペース１行分をあける

【緒言】

 日本体育・学校健康センターによると、毎年、全国の小学校で約50万件前後の負傷が報告されている11）。このうち、小学校の授業中（各教科・道徳）に発生した負傷は約12万件前後であり、特に、体育科授業中に発生する負傷は頻度が高く、授業中（各教科・道徳）に発生する負傷のうち、約75％を占めている（図１）。

本文：10pt，明朝体，２段組．

２段組とし間隔を２文字分とする

余白:25mm

 体育・スポーツの事故に関する研究は、身体的・精神的条件、施設・設備・器具の条件、気候・環境的条件、指導上の条件などの観点から、さまざまな研究が報告されてきた2）,4）,7），9）-12）。事故災害の発生はさまざまな要因が相互に関連して発生していることが多いため、発生原因、発生メカニズムが十分解明できないことも多く、今日においても、合理的かつ効果的な事故災害の発生防止の対策が確立されているとは言えない。



 これまでの研究・調査のうち入手したものを調べた限りでは、事故の発生と体育科授業開始後の時刻経過との関係に関する研究・調査は報告されていなかった。

 一方、事故と時間の関係は交通事故や労働時間などでは古くから研究されており、事故発生に時間的要因が大きく関与していることが報告されている1）,5），6）,13）。バス運転手による日内の事故発生に関しては、18時前後の事故発生リスクが高く、運転開始後の事故発生に関しては、運転のはじめに事故が多発することが報告されている1）。一般の産業災害については午前10～11時と午後2～3時にピークを持つ2相性の曲線が示される1）ことが知られている。また、狩野13）は強制作業における一連続作業時間に関する実験結果において、基準値の相対的な低下が、作業開始後30分後に発生するという共通的傾向を示している。そして、これらの報告は実際の現場において事故の予防対策に有効利用されているのである。

余白:25mm

余白:25mm

 よって、この研究では事故発生の時間的特徴に関して、教育現場における体育科主任の認識を質問票調査により、また実際の状況を災害報告書より得ることにより、各々の特徴および両者の関係について解析した。

【対象と方法】

 1.質問票調査

1）対象

 茨城県全公立小学校593校（養護学校・盲学校・聾学校の小学部は除く）の体育科主任を対象に質問票調査を郵送法にて行った。

2）調査内容

 調査内容は、負傷・疾病の発生率に関する体育科主任の認識を問う設問のほか、学校の時間割に関する設問、及び回答者自身に関する設問で構成されている。

余白：25mm

小学校児童における体育科授業中に発生する

負傷に関する研究

氏　名

体育学学位プログラムor 専攻

指導教員 　氏　名

#  Study of injuries in physical education class for elementary school children

### ローマ字氏名

**The ultimate aim of this study was to decrease number of injuries in physical education class for elementary school children. For this purpose, the number of injuries and teachers’ recognition were compared and analyzed in terms of time factors.**

**The findings of the research showed that the recognition of teachers was similar to the occurrence of actual injuries. There were, however, differences in some points. By teachers’ recognizing the difference, I consider that the frequency of injury would decrease.**

【緒言】

 日本体育・学校健康センターによると、毎年、全国の小学校で約50万件前後の負傷が報告されている11）。このうち、小学校の授業中（各教科・道徳）に発生した負傷は約12万件前後であり、特に、体育科授業中に発生する負傷は頻度が高く、授業中（各教科・道徳）に発生する負傷のうち、約75％を占めている（図１）。

 体育・スポーツの事故に関する研究は、身体的・精神的条件、施設・設備・器具の条件、気候・環境的条件、指導上の条件などの観点から、さまざまな研究が報告されてきた2）,4）,7），9）-12）。事故災害の発生はさまざまな要因が相互に関連して発生していることが多いため、発生原因、発生メカニズムが十分解明できないことも多く、今日においても、合理的かつ効果的な事故災害の発生防止の対策が確立されているとは言えない。



 これまでの研究・調査のうち入手したものを調べた限りでは、事故の発生と体育科授業開始後の時刻経過との関係に関する研究・調査は報告されていなかった。

 一方、事故と時間の関係は交通事故や労働時間などでは古くから研究されており、事故発生に時間的要因が大きく関与していることが報告されている1）,5），6）,13）。バス運転手による日内の事故発生に関しては、18時前後の事故発生リスクが高く、運転開始後の事故発生に関しては、運転のはじめに事故が多発することが報告されている1）。一般の産業災害については午前10～11時と午後2～3時にピークを持つ2相性の曲線が示される1）ことが知られている。また、狩野13）は強制作業における一連続作業時間に関する実験結果において、基準値の相対的な低下が、作業開始後30分後に発生するという共通的傾向を示している。そして、これらの報告は実際の現場において事故の予防対策に有効利用されているのである。

余白:25mm

 よって、この研究では事故発生の時間的特徴に関して、教育現場における体育科主任の認識を質問票調査により、また実際の状況を災害報告書より得ることにより、各々の特徴および両者の関係について解析した。

【対象と方法】

 1.質問票調査

1）対象

 茨城県全公立小学校593校（養護学校・盲学校・聾学校の小学部は除く）の体育科主任を対象に質問票調査を郵送法にて行った。

2）調査内容

 調査内容は、負傷・疾病の発生率に関する体育科主任の認識を問う設問のほか、学校の時間割に関する設問、及び回答者自身に関する設問で構成されている。